10月10日号　第2600号
2002年(平成14年)
(昭和24年5月10日　第三種郵便物認可)
発行所　財団法人　海上保安協会
〒104-0045　東京都中央区築地 5－3－1
電話 03－3542－3678～9
FAX 03－3541－9085
(毎週木曜日発行)
購読料　月極610円　送料共

海上保安新聞

黒松　千福
株式会社 三宅本店〈広島・呉〉

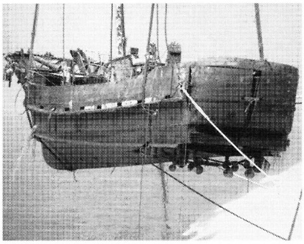
「北朝鮮工作船」と断定

海上保安庁が調査状況を公表

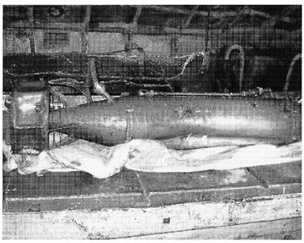
活動内容など解明へ

小型舟艇に水中スクーター　GPS装置も発見

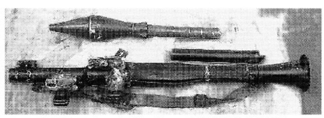
奄美大島沖で引き揚げた不審船の安全確認をしていた海上保安庁は十月四日、「捜査に支障のない範囲」で、調査状況を公表した。九月十七日の日朝首脳会談で北朝鮮の金正日総書記が北朝鮮の関与を認めた。これまでの調査でも、不審船は小型舟艇を乗せ、小型舟艇に水中スクーターがあった、武器に北朝鮮を示すマークが刻印されていた、不審船本体の機関室から「金日成バッジ」が発見されたことなどを総合判断し、海上保安庁は「北朝鮮の工作船」と断定した。今後、活動内容、犯罪目的などの全容解明に全力を挙げる。



引き揚げられた工作船。船体後尾に観音開きの扉



小型舟艇にあった水中スクーター



対戦車ロケットランチャーの発射装置と砲弾

海上保安庁は、漁業法の立入検査忌避罪と海上保安官に対する殺人未遂罪の容疑で捜査している。二月にサイドスキャンソナーでの沈没位置調査、ROV（自航式水中カメラ）による船体状況調査、五月には有人潜水調査を行い、引き揚げが可能と判断した。

これらの調査と引き揚げ作業、安全確認作業を通じて七百数十点の証拠物が回収され、整理・分析・鑑定が進んでいる。

工作船に搭載された小型舟艇は、平成二年に福井県美浜町で発見され、福井県警が北朝鮮のものと断定した上陸用小型舟艇と似ている。小型舟艇に水中スクーター、母船にゴムボートがあったことから上陸用工作船との見方が強い。

北朝鮮に結びつく証拠物も多い。▽ロケットランチャー一機の引金部側面に北朝鮮を示す丸に星マークとハングル文字の刻印があった▽7・62ミリ弾に刻印された番号から北朝鮮製であることを確認した▽海底で回収した日本製の旋回窓は北朝鮮へ輸出されたものと判明した、など。

小型舟艇のエンジンはスウェーデンのボルボ社製、ゴムボートは日本のアキレス社製、携帯電話は東芝製だった。

小型舟艇からはGPS（全地球測位システム）装置が発見された。記録内容によっては工作船の航行経路が分かる可能性がある。

日本周辺で不審船事案は二一件あるが、船体構造などが明らかになるのは初めて。

◇　◇　◇

四日までに海底と工作船内で確認された主な証拠は次の通り。

〈工作船〉

全長約三〇㍍、幅約五㍍。船橋構造部は大部分が脱落していた。船体は鋼鉄製で、相当腐食している。船底には大きな破損はなかった。船底はV字型でエンジンを四基搭載、速度を重視した構造になっている。

暴露甲板の格納スペースに折り畳まれたゴムボート二隻、船尾部観音扉内部に小型舟艇を格納していた。

〈小型舟艇〉

工作船船尾に観音扉があり、その中に小型舟艇が収納されていた。長さ約一一㍍、最大幅約三㍍で甲板は木製。水中スクーター一台を積んでいた。爆発物二個も発見。海底から回収したスイッチにハングルで「自爆」とあり、このスイッチは爆発物二個を連結するリード線のソケットと合致した。

〈回収物〉

▽武器類＝携行地対空ミサイル、ロケットランチャー、82ミリ無反動砲、14・5ミリ対空機関銃、7・62ミリ軽機関銃、5・45ミリ自動小銃、手りゅう弾、照準鏡

▽その他＝携帯電話、「金日成バッジ」、潜水用空気ボンベ、直流変圧器

〈遺　体〉

安全確認作業で少なくとも三遺体を確認。事件直後と今年五月に収容された四体と合わせ計七体。

工作船陸揚げ

工作船は鹿児島湾での安全確認作業が終わり、十月六日、鹿児島ドック鉄工㈱に陸揚げされた。昨年十二月二十二日の事件発生から九カ月半ぶりの陸揚げ。

引き揚げは、六月十八日の中国との合意を受けて、同月二十七日から始まったが台風の連続襲来で作業は再三、中断された。

「北朝鮮」の特徴もつ回収物

主な回収物	「北朝鮮」を示す特徴
船体後部甲板室の一部	北朝鮮を示すアルファベット（ＤＰＲＫ）を記載したスイッチが付属
14.5ミリ対空機関銃	機関銃本体上部に、旧ソ連を示すハンマー・鎌に星のマーク。消炎制退器にハングル文字(「開」と「閉」を意味)
5.45ミリ自動小銃	１丁の機関部上扉側面に、北朝鮮を示す丸に星マーク
7.62ミリ軽機関銃の弾帯	弾に刻印された番号から、北朝鮮製と特定
海底回収のスイッチ	ハングルで「自爆」の記載
カエデ柄のたばこ	「リョカタンベ」（フィルター付きたばこの意味）「テソンソンネたばこ工場」とハングルで表記
菓子袋	製造元を「朝鮮平壌」とハングル表記
毛布	タグに、北朝鮮国内の工場名「朝鮮博川絹織工場」などがハングルと英語で表記
衛生紙包装紙	北朝鮮国内の工場名(121号工場）がハングルで表記
木片（海上回収）	１個には「ああ党よ、この子は永遠にあなたの忠臣になろう」と仮訳されるハングル表記
「金日成バッジ」	約２㌢四方で、赤をベースに中央に故・金日成国家主席の肖像画

武器の概要

武器の種類・名称		最大射程(㍍)	有効射程(㍍)
携行地対空ミサイル　２機	SA-16	5000	5000 最大高度3500 最低高度10
対戦車ロケットランチャー　２機	RPG-７	920	300(移動標的) 500(静止標的)
82ミリ無反動砲　１機	B-10	4000	1000
14.5ミリ対空機関銃　１機	ZPU-２	7000	2000
7.62ミリ軽機関銃　２丁	PK系		1000
5.45ミリ自動小銃　４丁	AKS-74	3600	500

不審船対応能力強化へ

214億円余

15年度予算・概算要求

海上保安庁は奄美大島沖の工作船事件を踏まえ、十五年度予算に二一四億円強の概算要求をし不審船対応能力を強化する。

今回の工作船の武器のうち威力の大きな携行地対空ミサイル、対戦車ロケットランチャーなどは射程距離が最大五、〇〇〇㍍であることから、航空機・巡視船艇は五、〇〇〇㍍以遠の安全圏から対応することを基本として装備などを充実させる。

（3面に対応の内容）

週間海難情報

9月30日(月)～10月6日(日)

十月一日午後六時四十九分、バハマ自動車運搬船HUAL EUROPE（五六、八三五㌧）からの遭難信号を海上保安庁がキャッチした。連絡により伊豆大島の波浮港沖約五〇〇㍍に乗り揚げており、機関室に浸水、左舷へ15度傾斜していることが判明した。

二日午前零時五十五分、特救隊員が同乗した航空機が到着したものの、台風21号による荒天のため救助を一時見合わせた。午前五時十五分ごろ、特救隊員三人が降下、午後二時五十分ごろまでに乗組員二四人全員を吊り上げ救助した。

今週、海上保安庁が救助した船舶、人命は一隻、二七人だった。

種類別	隻数
衝突	15
乗り揚げ	3
転覆	1
火災	3
爆発	0
浸水	1
機関故障	0
推進故障	3
舵故障	0
行方不明	0
その他	6
計	32

潮流

▼ロケットランチャー、14・5ミリ対空機関銃、7・6ミリ軽機関銃、5・45ミリ自動小銃が発射された。四日に海上保安庁が発表した北朝鮮工作船の調査状況で明らかになった。ロケット砲がまともに当たっていたら、海上保安官の犠牲は甚大なものとなっただろう。身の毛もよだつ恐ろしさだ▼北朝鮮という国は日本人には理解しがたいに違いない。拉致事件にしても、八人もが若くして死亡したと説明する。同じ日に死んだ人がいたり、墓地が流されていたり、二度も火葬にするなど、死因を含めほとんどの日本人には信じられないだろう。生死を含め真相はどうなのか、誰もが知りたいところだ▼そうした国を相手に対応を練らなければならないのだから、海上保安庁は神経をすり減らしてしまう。物騒な工作船などから国民の安全を守ることが海上保安庁に課せられた使命である。その使命達成のため、海上保安庁が要求している装備の充実などについて国民が十分理解してくれるよう、大いにアピールしていきたい。